

世界に目を向けよう～今、私たちにできること～活動報告

2007.08 阿部

◎ 2006.9～2007.8 の活動記録

本会は、月2回の定例学習会（毎月第1・第3土曜日）を活動の基礎として行っています。毎回の活動では、ビデオを視聴しての意見交換、ワークショップ、ワークブックを使った学習などを主に行っています。本年は特に、「差別」というテーマを切り口に、アジア近現代史やスポーツの世界に見られる差別を学習してきました。

さらに、本会をより多くの人に知ってもらうために、一般の方々のほか、他団体との関わりを進めています。今年度は以下のような活動を行ってきました。

2006.10	CVSG スタディーツアー参加者よりカンボジアでの体験報告を聞く（@さいたま市プラザイースト） 尾間木地区文化祭参加（@尾間木公民館）
2007.05	埼玉新英語教育研究会（@仲本公民館）
08	第15回イベント開催（@さいたま市プラザイースト）

なお、各イベントや定例学習会の内容はホームページ（下記）にて随時更新する予定です。

◎ カンボジア・サイパンの現地報告会（2006.9/2006.10/2007.5）

上記定例学習会の中で、カンボジアやサイパンに

◎ 今後に向けて

本会は学生～社会人という構成会員の性格上、参加者も入れ替わることが多く、また、常に様々な立場の人間が関わっています。平和を築く第一歩は、様々な立場を知り、互いに認め合うこと。本会は様々な人間が世代や立場を越え共に活動する中でその学びを実践しています。そのような活動の中での学び、そして具体的な学習による学びを実践しながら、今後も本会の活動を存続させていきたいと思っています。そして、より多くの方に活動を知っていただけたらと思います。今後ともよろしくお願ひします。

実行委員会ホームページ <http://m-naoyuki.cool.ne.jp/worldfriends/>

メールアドレス world_friends_saitama@hotmail.com

●あゆみ

「世界に目を向けよう～今、私たちにできること～」は、1993年、浦和市立東浦和中学校教諭（当時）であった金子玲子氏（現さいたま市立大原中学校教諭）の平和へのあふれる思いから、顧問をしていた男子バスケットボール部などが中心となって浦和コルソにて写真展を開いたことから始まった。翌年には選択教科ワールドスタディーズや生徒会なども加わり、世界の現実を学習し、自分達にできることは何かということを考える仲間を広げた。その後も、問題意識をもち共に考えていきたいという卒業生などの有志が多く集まり、学年・年齢を超えた活動へと発展してきた。

「世界に目を向けよう～今、私たちにできること～」のあゆみ

1992	ネパールへ現状を視察に行く（金子先生）	
1993	★浦和コルソ、蓮田で写真展（男バス他）	★：イベント開催
1994	★浦和東電ホール（選択教科ワールドスタディーズ・生徒会他）	
1995-96	★浦和市立尾間木公民館（卒業生＋在校生）	
1997-98	★浦和市プラザイースト（英語部＋卒業生＋在校生）	
1999-2000	★浦和市プラザイースト（英語部＋卒業生＋在校生＋保護者）	
2001	★さいたま市プラザイースト（生徒会＋卒業生＋在校生） 毎月第三土曜日に、尾間木公民館にて学習会を始める。	
2002	さいたま市国際交流協会に加盟する。 ★さいたま市プラザイースト（生徒会＋卒業生＋在校生）	
2003	★さいたま市プラザイースト（生徒会＋卒業生＋在校生＋ボランティア） 学習会実施を毎月第一・第三土曜日に変更 さいたま市立尾間木公民館文化祭 さいたま市国際交流協会・ボランティア養成講座講演（市民会館うらわ）	
2004	★さいたま市プラザイースト（生徒会＋卒業生＋在校生＋ボランティア） 尾間木地区文化祭参加（尾間木公民館）	
2005	さいたま市国際 NGO ネットワークに加盟 日本国際理解教育学会第 15 回研究大会にて活動報告 ★さいたま市プラザイースト（在校生＋卒業生＋ボランティア） さいたま国際わくわくフェスタ（桜木小学校） ユース国際ボランティア養成講座にて活動報告 ユニセフ ハンド・イン・ハンドに参加	
2006	さいたま市国際交流協会研修会に参加 さいたま市国際 NGO ネットワーク総会に参加 ★さいたま市プラザイースト（在校生＋卒業生＋ボランティア） 尾間木地区文化祭参加（尾間木公民館）	
2007	埼玉新英語教育研究会にて活動報告	

●目的

当会は、次のような目的をもって活動している。

- ・世界に目を向け、自己と世界との関わりについて考えるきっかけづくり。
- ・より良い社会づくり、未来づくりのために、今、自分たちのできることを考える。

●活動

当会は上記の目的に基づき、「世界を知ろう」「海を越えての交流」「身近にできる国際支援」という三本の柱を掲げて活動している。「私たちにできること」とは、まず、世界を知ること。そして、その知識をより多くの人と共有し、共に考え、個々人の意識を高めること。そうした中で、自分たちにできることはないか考え、身近なところから行動することである。

そのような理念のもと、2001年9月から行っている定期学習会では、個々人の調査資料や考えを持ち寄り、また学習教材に取り組んだりしながら、常に問題意識を持つとともに謙虚な気持ちで、知識の共有と考えの深化を試みている。また、現在まで10数年にわたって年一回行ってきたイベント発表は、学習してきた内容を会の中だけで終わらせるのではなく地域にうったえることで、知識をより多くの人と共有し、共に考えていきたいという思いから行っている。

